

27年度事業報告書

国が経済成長をめざす経済の成長戦略と税・社会保障制度の改革が大きなテーマとして位置づけられている中において、国民の医療や福祉に要する費用は年々上昇している傾向にある。本県は、少子・超高齢化、人口減少社会などの課題は山積しており医療や福祉の充実、地域医療サービス向上支援システムの検討もされているが抜本的な対策はなく、今後は経済面からも若者の県外流出が進む事が懸念される。また、文部科学省の中央教育審議会においては大学改革と併せ、より実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関として「職業大学」(仮称)の制度化に向けた議論がされ、28年度内に新たな大学の類型が設けられるべく法律の改正が注目される。これらの変化と新制度改正を注視しながら、今後の大きな転換期が来ることも予想される事態を想定しつつ、足腰の強い学校法人の確立をめざし取り組んできた。

本校は香南市香我美町山北から移転し早や7年を経過し、高知市の専門学校としての位置や知名度は一定の確立はしたものと自負する。また、本校としての使命である「地域社会に貢献できる医療人の育成」を図るために、役職員が一体となり取り組んだ。

本年度は、学生たちが安心して学べる環境整備拡充をはかりつつ、学生の生活面のスキル向上や社会性を育む教育活動も実施し、モラル研修や防災(犯)訓練等を実施し、教職員と学生や地域住民らと協調した日常からの安全対策の意識高揚に努めた。

本法人は、本年度役員改選で将来方向を模索しつつあらゆる可能性の検討を重ね、安定した学校法人の確立を目ざし、業界の動向を注視し情報を収集し、関係機関と連携協調し取り組んだ。

計画に対する実績と検証

法人部門

- 大学化への模索検討ならびに、行政など関係機関との協議調整
- 安定した財務基盤の確立ならびに、借入金返還による負債減少
- 教育環境の整備充実

1、適正な管財管理と安定した財政基盤の確立

築20年を経過した構築物は、随所に修繕箇所が発生しており早期に発見修繕していくことが老朽防止につながる。本年度、高知市より特殊建築物の調査指示があり実施したところ、壁面タイルの浮き症状やひび割れが報告され、今後修繕工事も含めた漏水、シール補修等計画的に実施し適切に維持管理を実施する。デマンド監視装置ならびに空調設備の利用により、節電効果も効率的に進み、同時に常時点灯場所の照明のLED化への更新を図り消費電力の削減に努めた。

取引金融機関とは緊密な信頼関係を維持しつつ、資本の増強、経営基盤の強化に努めた。また、永年保有してきた資産株式については、26年度末に一旦処分し、27年度借入返済と金利の低減化交渉を進め、負担軽減ならびに自己資本増強に努めた。

教育部門

1、入学生の確保ならびに、教育環境の整備充実

入試要項の見直しをおこない、県内外の高等学校への訪問活動や業者主催のガイダンス(学校説明会)への教職員による積極的な参加の機会を持ち、本校の学生生活の様子や入試システムの伝達に取り組んだ。

オープンキャンパス(6回/年)を開催し、多くの参加者を本校に迎えることが出来た。また、高等学校からの視察見学来校も受け入れ、高知市中心部に近い本校の立地・利便性や教育設備・環境をPRし、高等学校関係者や志望生徒・保護者からも高い評価を受けた。

入学者数は、作業療法学科において定員を充足することができなかったが、県外高等学校や社会人の志願者が減少傾向にある中、今後その原因も分析し次年度からの募集戦略を検討することが重要である。

先進医療機器のリース契約による導入を計画的に進め、学生が実習中においても一定の知識や経験を持てるよう、教員の研究や卒業論文の拡充のため教育什器備品の整備に努めた。

さらに、構築物全般の修繕や各教室の環境整備、機器更新、LED照明更新を計画的に行ない、学生が満足し学べる環境整備に努めた。

不足していた作業療法学科専任教員を10月より採用補充した。

事務局職員を27年度採用にて募集し体制の充実を図った。

【具体的実施内容】

- 新聞・TV広告、電車・駅へのポスター掲示(有料)、県内外の医療関係施設へのポスター掲示依頼、パンフレットの設置依頼
- 進路説明会 業者主催(有料)、県内各高等学校主催、県専各連によるガイダンスへの参加
- 高等学校訪問 教職員による訪問ならびに、模擬授業等の実施
- 情報発信戦略 IT委員会において情報発信戦略を見直し、ホームページの改編はもとより関連した「フェイスブック・ツイッター・ライン」等SNSに詳しい専任担当者を配置し、専門委員会(IT委員会)において、先進的情報を取り入れ随時発信した。

2、学生支援体制の充実強化

【学習支援】

留年生や退学者を発生させないためも、学生の学ぶ意欲を高める取り組みに努めた。新入生は、専門教育を学ぶうえで必要な基礎学力の学習の機会を設け、専任教員による学習支援体制を整え学習サポートを実施した。また、少人数を対象に教員がそれぞれの専門分野にて、学習支援を実践した。毎月開催する教授会において、情報と問題の共有化、連絡調整、危機管理対策について協議し、教務部(各学科)・学生支援室・事務局ともに部署会議を実施し、諸問題に対処した。国家試験への取り組み対策として、4年生と科目等履修生を対象に教職員が一体的に協力し、年末より休祭日も学校施設を開放して精力的に学生の支援を実施した。

【就職支援】

求人募集は、理学・作業療法学科ともに県内外から前年を超える多くの求人募集があり、就職セミナーも再三にわたり実施した。また、9月に開催した就職説明会には県内外の多くの施設より来校し募集要請があり、学生は希望する就職先の担当者との貴重な面談の機会を持ち、希望する病院や施設への就職が達成出来た。

3、職業実践専門課程認定

文部科学省より、県内において3校目となる「職業実践専門課程」の認定を取得した。申請にあたり、学校関係者や第三者委員も交えた構成でそれぞれの専門会議を開催し、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会においては、現状の学校の状況を検証しつつ改善点や教育カリキュラムの検討、自己点検評価、情報公開など様々の検討がされ、今後一層内外より評価されるための取り組みがスタートした。

4、学術発表と研究取組み

教員が様々な学会(四国・全国)において、研究発表、学術論文の発表に積極的に参加し取り組んだ。

5、施設整備ならびに安全対策セミナーの実施

デマンド監視により日々の消費電力需要を監視するとともに、事務所での集中管理により契約料金の削減に取り組んだ。

交通安全規範の啓発、高知東警察署・高知市防災対策課・セコム(警備)合同による津波避難訓練実施、防犯・防災講習会を実施し学内の安全対策を講じた。

- | | |
|------------------------|---------------|
| ○消費生活セミナー(高知県消費生活センター) | 4年生 |
| ○防犯セミナー(セコム株式会社) | 女子学生、教職員、地区住民 |
| ○地震、津波防災避難訓練 | 学生、教職員 |
| ○南海トラフ地震に備えて対策研修 | 学生、教職員 |

6、地域貢献活動

学生の体験学習も兼ね、地域(大津地区)における「リハビリ体験講習」を理学・作業療法学科教員と学生により開催し、中学生から老年まで幅広い世代に向けたセミナーを実施した。また、従前から実施している「香南市スポーツクラブ事業支援」、「山北地区いきいき体操」サークルの指導など積極的におこなった。10月の「かんきつ祭」当日は、本校が避難ビル指定のため、高須地区の住民の津波避難訓練として講義棟屋上への避難訓練を実施した。また、火災消火器使用訓練も行われ教員・学生らが地域住民と防災意識の高揚に努めた。

毎年7月に実施される「浦戸湾河川一斉清掃活動」へ教職員、学生とともに協力参加した。

7、学校評価(学生・保護者)、授業評価の実施

職業実践専門課程の申請にともない、保護者や学生からの率直な評価や意見について学校評価アンケートを実施した。また、授業評価アンケートは前期・後期それぞれ実施し、学内教員のみならず外部講師の授業についても検証し、問題点の改善に取り組んだ。結果については、本校ホームページにて公表した。